

平成28年度
ティーンズミーティング開催結果

平成28年11月
尼崎市

目 次

第1章 概要	1
1 目的	1
2 実施方法	1
(1) 対象	1
(2) 内容	1
(3) 実施校	1
(4) その他	1
3 話し合いのテーマ及び当日スケジュール等	2
(1) テーマ設定の趣旨等	2
(2) テーマ・スケジュール	2
(3) ファシリテーター（進行役）	3
(4) 当日の運営	3
4 実施状況	4
5 意見の取扱いについて	4
第2章 子どもの思いや考え（まとめ）	5
1 まとめ方	5
2 子ども思いや考えの分類（小学生・中学生共通内容）	6
3 内容	7
(1) 第1部「地域の大人と子どものつながり」	7
(2) 第2部「子ども同士のつながり」	11
(3) フリートーク	13
第3章 子どもの思いや考え（詳細版）	15

第1章 概要

1 目的

この事業は、「尼崎市子どもの育ち支援条例」(以下「条例」という。)の理念である「子どもの人権を尊重することを基本として子どもの育ちを地域社会全体で支える」ことを実現していく取組の一環であり、平成23年度から複数年をかけて公立小学校・中学校の子どもを対象に、広く思いや考えを聴こうとするものである。

子ども同士の話し合い(以下「ティーンズミーティング」という。)を通じて、思いや考えを聴くことにより、「子ども目線で社会はどう見えているのか。」「子ども同士の関係を子どもはどうとらえているのか。」を把握し、必要に応じて、子どもの視点から見た、子どものニーズを踏まえた子ども関連事業の構築などにつなげるとともに、地域住民などが、子どもの思いや考えを知ることにより、子どもの育ちに関心をもち、関わる可能性を高めることを目的としている。

また、話し合いを通じて子ども同士が、お互いに他の人の思いや考えを知る学びの機会となる効果も期待しているものである。

2 実施方法

(1) 対象

公立学校の子ども(小学生5・6年生、中学生)

(2) 内容

小学校、中学校のそれぞれの学校の子どもだけで、グループを作り実施した。

ア 定員：1回あたり約12人

イ 時間：1回あたり2時間程度

ウ 参加する子ども(以下「参加者」という.):実施校に一任

エ 場所：教室など学校内の施設

(3) 実施校(平成28年度)

ア 実施校数：7校(小学校5校・中学校2校)

イ 実施校名：金楽寺小学校・成文小学校・立花小学校・水堂小学校・園田東小学校・南武庫之荘中学校・園田東中学校

* 実施校については、教育委員会事務局生徒指導担当が対象校と調整の上、決定した。

(4) その他

ティーンズミーティングは、参加者が自由に発言できる環境を作ることが大切にするため、学校の先生、保護者も含めて、原則、非公開としている。

3 話し合いのテーマ及び当日スケジュール等

(1) テーマ設定の趣旨等

ア 条例の理念である「子どもの人権を尊重することを基本として子どもの育ちを地域社会全体で支える」ために、大人が子どもの思いや考えを知ることにより、大人自らの責任や、個々の役割について振り返ること、また、話し合いを通じて、子ども自身が自らできることなどについて気付くことができるよう、「つながり」をキーワードにテーマを設定した。

イ 話し合いを深めるための方策として、話し合いのテーマや質問の内容等を記載した「取組プランシート」を活用し、質問を行った(「取組プランシート」の様式については、第2章のとおり。)

(2) テーマ・スケジュール

オリエンテーション・自己紹介など		15分	
第1部	地域の大人と子どものつながり	テーマ、質問内容 1 地域の大人力を借りて実現してみたいこと 地域の大人力を借りて実現してみたいことってどんなこと? どうすれば実現しやすくなると思いますか? 2 地域の大人に改善してもらいたいこと 地域の大人に改善してもらいたいことってどんなこと? どうすれば改善しやすくなると思いますか?	50分程度
	- 休憩 -		10分程度
第2部	子ども同士のつながり	テーマ、質問内容 3 子ども同士の関係を、よりよくするためにできること 子ども同士の関係が「うまくいかなかったこと」ってありますか?その理由は何ですか? 子ども同士の関係が「うまくいかなかった」時に、どうすれば解決しやすくなると思いますか?	25分程度
	- フリートーク - (ミーティングを通じて新たに気づいたこと、明日からやってみようと思うこと、感想 など)		20分程度

ア 事業をより効果的に実施するために、参加者に対して事前に説明会を開き、条例のパンフレットなどを活用することにより、事業趣旨や当日の進行などについて説明した。

イ また、事前説明会時に「取組プランシート」を配付し、当日までに思いや考えを整理した上で、参加することを基本スタイルとした。

時間については、各学校の進行状況などにより変更している。

(3) ファシリテーター（進行役）

ア それぞれのティーンズミーティングに、ファシリテーターが1人入り、進行を行った。

イ ファシリテーターは、子ども同士の話し合いが進むように手伝うとともに、話し合いの中で、参加者の気付きを促す役割を担った。

ウ ファシリテーターは、「子どもの育ち支援ワーカー」などが行った。

* 子どもの育ち支援ワーカー：条例の理念を実現していくために、福祉事務所生活支援相談課に配置されているスクールソーシャルワークを行うソーシャルワーカーであり、学校現場で教員等とともに、不登校や非行など悩みや問題を抱える子どもやその可能性が高い子どもを早期に発見し、関係機関と連携し適正な支援につなげるための役割を担っている。

(4) 当日の運営

はじめに、ティーンズミーティングの開催趣旨は、「尼崎市を『子どもたち一人一人が大切にされて、たくさんの人に支えられて育つまち』にするために、子どもの思いや考えを聴く場であること」を、参加者に伝えた。

また、誰が発言したのかは特定されることがないことを伝え、参加者に安心感を与えた上で進行を行った。

なお、参加者や同席する大人（運営の手伝いをする者など）には、以下のルールを伝え共有するとともに、このルールにそわない発言は、開催結果（まとめ）には掲載できないことを伝えた。

子どものルール

自由に話をするができる（正しくない意見はない。）

皆が対等に話をするができる（男女、年上年下ということは関係ない。）

誰かが話をする時は、一生懸命聴く。

誰かを傷付けたり、誰かが嫌な思いをするような内容の発言はしない。

ティーンズミーティングの後に、話をした内容のことで誰かを傷付けたり、嫌な思いをさせたりするような行動はしない。

ファシリテーターの許可を得てから発言する。

大人のルール

ティーンズミーティング中は、ファシリテーター（とファシリテーターを手伝う人）以外の大人は発言しない。どうしても発言が必要な時はファシリテーターの許可を得る。

ティーンズミーティングの後に、発言者の発言をもとにして責めるような言動はしない。

4 実施状況

実施日	実施校	参加人数
7 / 1 9 (火) 午後	園田東中学校	1 1
7 / 2 1 (木) 午前	立花小学校	8
7 / 2 2 (金) 午後	成文小学校	9
7 / 2 5 (月) 午後	南武庫之荘中学校	1 0
7 / 2 7 (水) 午前	水堂小学校	1 1
7 / 2 7 (水) 午後	金楽寺小学校	1 2
7 / 2 9 (金) 午前	園田東小学校	7
		計 6 8

5 意見の取扱いについて

ティーンズミーティングでの思いや考えは、自由に話せる雰囲気づくりを行う中で出されたものであり、具体性などに欠けているものもある。

このため、アンケートのような統計的な手法を用いて得た情報として扱うことはできないが、「子ども目線」という特性をもつ情報として、大人にとっては貴重なものであるため、以下のように取り扱い、大人の取組に活かしていく。

- ・ 地域社会の子育て機能向上支援事業（子育てコミュニティソーシャルワーク）を通じて、地域住民に周知し、主体的な取組みについて働きかける。
- ・ 子どもの思いや考えのうち、行政の取組に関連するものについては、参加者に、行政の考え方を伝える。
- ・ 必要に応じて、子どもの視点から見た、子どものニーズを踏まえた子ども関連事業の構築などにつなげるよう検討する。
- ・ 尼崎市子ども・子育て審議会の委員を通じて、子どもに関わる団体に周知し、取組について働きかける。
- ・ ホームページに掲載し、市民への周知を図る。

第2章 子どもの思いや考え（まとめ）

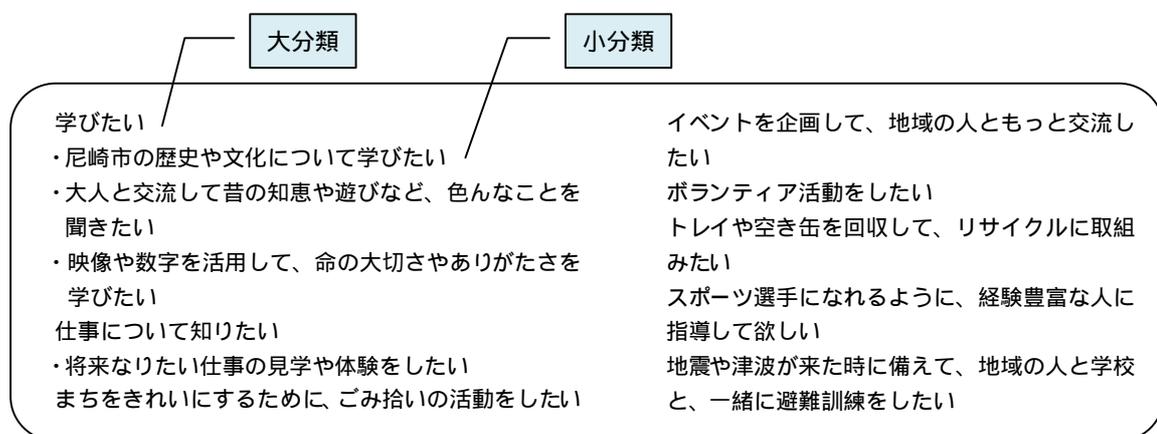
1 まとめ方

7校で実施した各ティーンズミーティングで出された子どもの思いや考え（以下本文中「意見」という。）は、同じテーマで話し合っても、参加者が異なることや、その場の雰囲気などの諸条件により違いが表れていたが、この開催結果（まとめ）では、「子ども目線でどう捉えているのか」を把握することを主眼に置いているため、参加者の意見全てを、小学生と中学生に分けて集約した上で、これらを分類して全体的な傾向としてまとめている。まとめ方は以下のとおりである。

- (1) テーマごとに類似した意見を集約して掲載している。
- (2) 各テーマの質問に対する意見については、集約した意見を「小分類」としてまとめ、類似する小分類の意見を「大分類」としてまとめている。
- (3) 各テーマの質問に対する意見については、「大人」「子ども」「大人・子ども」のそれぞれの役割を記載している。
- (4) 参加者の意見の内容は、原則として、子どもが使用した言葉を尊重している。
(1)～(4)については、第3章においても同じ。
- (5) 第2章については、意見の多かった内容等を中心に抜粋して、主なものを掲載している。

記載例

第1部は、以下のようにまとめて掲載した。



第2部は、の意見全体に対する、の意見として掲載した。

その際、大分類は「 」で、小分類は「・ 」とした（以降も同じ）。

2 子どもの思いや考えの分類（小学生・中学生共通内容）

第1部、第2部において、テーマに沿って子ども同士が話し合うよう運営を行った。また、話し合いの内容を発展させ、より意見を深めるために、それぞれのテーマに基づき質問した後に、どうすれば「実現しやすくなるのか」「改善しやすくなるのか」「解決しやすくなるのか」ということについて、「大人」「子ども」「大人・子ども」のそれぞれの役割を考えてもらいながら、意見交換するようにした。

第1部

地域の大人と子どものつながり

地域の大人力を借りて実現してみたいこと

小学生 7 ページ、中学生 8 ページ

地域の大人力を借りて実現してみたいことってどんなこと？

どうすれば実現しやすくなると思いますか？

地域の大人に改善してもらいたいこと

小学生 9 ページ、中学生 10 ページ

地域の大人に改善してもらいたいことってどんなこと？

どうすれば改善しやすくなると思いますか？

第2部

子ども同士のつながり

子ども同士の関係を、よりよくするためにできること

小学生 11 ページ、中学生 12 ページ

子ども同士の関係が「うまくいかなかったこと」ってありますか？

その理由は何ですか？

子ども同士の関係が「うまくいかなかった」時に、

どうすれば解決しやすくなると思いますか？

フリートーク

ミーティングを通じて新たに気づいたこと

小学生 13 ページ、中学生 13 ページ

明日からやってみようと思うこと

参加した感想

小学生 14 ページ、中学生 14 ページ

3 内容

(1) 第1部「地域の大人と子どものつながり」

テーマ1「地域の大人の力を借りて実現してみたいこと」〈小学生〉

地域の大人の力を借りて実現してみたいことってどんなこと？

学びたい

- ・ 尼崎市の歴史や文化について学びたい
 - ・ 大人と交流して昔の知恵や遊びなど、色んなことを聞きたい
 - ・ 映像や数字を活用して、命の大切さやありがたさを学びたい
- 仕事について知りたい
- ・ 将来なりたい仕事の見学や体験をしたい
- まちをきれいにするために、ごみ拾いの活動をしたい

イベントを企画して、地域の人もっと交流したい

ボランティア活動をしたい

トレイや空き缶を回収して、リサイクルに取組みたい

スポーツ選手になれるように、経験豊富な人に指導して欲しい

地震や津波が来た時に備えて、地域の人と学校と、一緒に避難訓練をしたい

どうすれば実現しやすくなると思いますか？

大人

趣味や得意なことを地域の人に伝えられる場をつくる

子どもの自由研究にもなるので、お寺の僧侶が写真を活用しながら、寺町の歴史について話す機会をつくる

どんな職業に就きたいかアンケートをとって、子ども達の考えを知ってから仕事の見学に行く

スポーツのルールをよく分かっている人が子どもに教えられるように、スポーツ指導員を免許制にする

子ども

ごみ拾いをしようと、地域の人や先生に声をかけたり、チラシをつくって呼びかける

イベントの企画から参加する

回収した物品でつくったりリサイクルボックスに実物の空き缶やペットボトルをつけて、分別しやすくする

ペットボトルのリサイクルボックスの形をペットボトルの形にするなど、分かりやすく興味を持ってもらえるような工夫をする

大人・子ども

家族や地域の人と一緒に、尼崎市の歴史を学びに行く

大人は子どもに、子どもは将来大人になった時に次の世代に、自分が学んできた命の大切さを教える

地域の情報をたくさんの人に伝える方法を考えて、大人には何を手伝って欲しいか伝える

今までボランティア活動をしてきた高齢者と一緒に、活動する

友達に呼びかけて募金活動をして、集まったお金は市役所から被災地に届ける

テーマ1 「地域の大人の力を借りて実現してみたいこと」 <中学生>

地域の大人の力を借りて実現してみたいことってどんなこと？

仕事について知りたい、体験したい

・トライやる・ウィークで体験できる職種を増やして欲しい

色々な人と交流したい

・高校生や大学生から、学校生活の話を聞きたい

・他校の生徒会がどんな活動をしているのか知りたい
中学生が企画から参加できる、地域のイベントを増やしたい

親が家に帰ってくるまで、ご飯を食べたりして子どもが安心して過ごせる地域の居場所をつくりたい
学びたい

・「選挙」というものがよく分からないので、模擬選挙をしたい

・伝統文化を学ぶために、着物の着付けや郷土料理の作り方などを教えてもらいたい

尼崎市や校区のイメージアップをしたい

どうすれば実現しやすくなると思いますか？

大人

「20歳からは大人です」と言われてもどうしたらよいのか分からないので、「大人」とはどういう人のことを言うのか、子どもに教える

事件の報道は悪いイメージになるので、事件数が減ったかどうかとも報道する

子ども

生徒会の活動報告書を他校に配る

引き継がれている感じがするから、母や祖母から着物の着付けを教えてください

大人・子ども

職業体験が難しい職種は、その仕事をしている人から話を聞く機会をつくる

子どもが将来どんな職業に就きたいと思っているのか、大人に伝える機会をつくる

中学生と高校生がお互いに学校を行き来して、交流する機会をつくる

親が子どもの成長を見ることができるよう、親子で参加できるイベントを考える

地域の大人は「親が帰ってくるまで子どもが1人で家に居る」という状況を知らないかもしれないので、子どもの状況を知ってもらうために、地域の大人と子どもがかかわる機会を増やす

生徒会役員を決める時に、本当の選挙と同じ備品や手順で行う

テーマ2「地域の大人に改善してもらいたいこと」〈小学生〉

地域の大人に改善してもらいたいことってどんなこと？

自転車は交通ルール・マナーを守って欲しい
・周りの人に危険が及ぶような、自転車の乗り方をしないで欲しい
・自転車の交通事故を減らして、安全なまちにして欲しい
・自転車は通行場所を守って欲しい
公園にごみをポイ捨てしないで欲しい
よくない言動をしている子どもがいたら、大人が注意して欲しい

人懐っこくなるので、面倒を見ないのに猫に餌をあげないで欲しい
子どもが寝る時間や夜遅くに、道路で騒がないで欲しい
ごみ出しのマナーを守って欲しい
不審者がいるとよく聞くので、校区内のパトロールを増やして欲しい

どうすれば改善しやすくなると思いますか？

大人

子どもの自転車事故の賠償金を親が払わないといけない時もあるので、交通ルール・マナーを守るように、子どもにきちんと教える
公園の中のごみ箱がどこにあるのか分かりにくいので、みんなの目につくところに置く
子どもの見守り活動をする人は、学校ではどんなことをしたら叱るのか知った上で、よくない言動をしている子どもがいたら注意する
猫に餌をあげるだけで飼えないなら、保護施設に預ける
まちの安全を守るために、ボランティアの人や警察が見回りをする

子ども

身近な人に呼びかけることから始めて、注意できる人を増やしていく
「自転車に乗りながらスマートフォンを操作していたら、こんな事故に遭いました」という劇をして、地域の人に危険さを知らせる
ごみ箱の捨て口に「ポイ捨て禁止」と書いたり、ごみの分別が分かるように絵を貼ったりする
ポイ捨てした人の目の前でそのごみを拾って、ごみ箱に捨てる

大人・子ども

周りの人のことを考えた行動をする
ポスターをつくって、ごみをポイ捨てしないように呼びかける
リサイクルできるものはリサイクルボックスに捨てるように、身近な人に呼びかける
子どもからも注意するが、それでも聞いてくれない時は大人が注意する
不審者を見かけた場所や人目につきにくい場所を地図にして、地域の人や先生に知らせる

テーマ 2 「地域の大人に改善してもらいたいこと」 <中学生>

地域の大人に改善してもらいたいことってどんなこと？

子どもの目の前で当然のように信号無視をしないで欲しい
・車も自転車も歩行者もみんな、「交通ルール・マナーを守る」という意識を持って欲しい
タバコを吸う人はルール・マナーを守って欲しい
・歩きタバコをやめて欲しい
夜に道路で、大声で話すのはやめて欲しい
バスや電車の中でのマナーを守って欲しい

子どもへの接し方を考えて欲しい
・大人は子どもに「歩きながらスマートフォンを操作したり、道路で大声で話すな」と言うけれど、大人もしているのだから、自分の行動を振り返って欲しい
・子どもがよくないことをしていたら頭ごなしに怒るのではなく、何がダメなのかを教えて欲しい
学校に不審者が近寄らないようにして欲しい

どうすれば改善しやすくなると思いますか？

大人

歩行者用信号や横断歩道がない交差点は、渡ってよいのかわかりにくいので、横断歩道などを設置する
タバコを吸う人は、携帯灰皿を持ち歩く

子ども

大人に「マナー違反は恥ずかしいことだ」と自覚させるために、子ども達がまず交通ルール・マナーを守る
知っている人がタバコの吸い殻をポイ捨てしていたら、「ポイ捨てしないで」と言う
日頃から地域の人と交流して、不審者がいた時に助けてもらえるような関係をつくる

大人・子ども

親子でボランティアに参加して、交通ルール・マナーを守るように呼びかけるポスターをつくる
酔うと声が大きくなるので、何杯までならお酒を飲んでいいか家族で話し合う

(2) 第2部「子ども同士のつながり」

テーマ3「子ども同士の関係を、よりよくするためにできること」〈小学生〉

子ども同士の関係が「うまくいかなかったこと」ってありますか？
その理由は何ですか？

人のことをからかう人がいた
仲間はずれにされた
意見が合わなくてケンカになった
遊びや冗談がきっかけでケンカになった
物の貸し借りがきっかけでうまくいかなかった

秘密を守ってもらえなかった
不真面目な人に注意をしたら、うまくいかなかった
SNS がきっかけでうまくいかなかった
自分の言動がきっかけでうまくいかなかった

子ども同士の関係が「うまくいかなかった」時に、
どうすれば解決しやすくなると思いますか？

大人

- ・ケンカをしている人に、なぜケンカになったのか聞く

子ども

- ・ケンカをしたりいじめている人を見かけたら、周りの子どもが止めに入ったり優しく注意したりする
- ・自分が言われて嫌な気持ちになるようなことは言わない
- ・人の悪口を言う人に、「あなたの考えは本当に正しいの？自分がされたらどう思う？」と問いかける
- ・色々な考え方があるということを知った上で、広い心で相手を受け入れる
- ・ケンカをした時は、どっちが正しいか間違っているかではなく、自分のよくなかったところを認めて相手と話し合う
- ・人を傷つけるような言葉を言わないように心がける
- ・悪口を言われている人に、「気にすることないよ」と声をかける
- ・からかった人が謝ることができるように、その人の友達が話し合える状況をつくる
- ・ケンカをした時は一度その場を離れて、冷静になってから話し合う
- ・SNS を使う時の注意点を学校で教わっても時間が経つと忘れるので、子ども同士で注意し合う

大人・子ども

- ・ケンカをしている人がいたらまずはとめに入ったり子ども同士で話し合うが、それでもやめなかったら大人に相談して、大人がとめに入る
- ・子ども自身が問題を解決できるように大人が子どもに助言したり、仲直りできる方法を一緒に考える
- ・(障害者だという理由でからかう人がいるので、) 障害者の大変さを体験できるイベントを企画する

テーマ3 「子ども同士の関係を、よりよくするためにできること」 <中学生>

子ども同士の関係が「うまくいかなかったこと」ってありますか？
その理由は何ですか？

SNSの使い方がきっかけでうまくいかなかった
大人がケンカの仲裁に入ったことで、さらに関係が悪くなった
やる気のある人となない人がいてケンカになった
冗談がきっかけでうまくいかなかった

意見が合わなくてうまくいかなかった
友達の親から「うちの子と話さないで」と言われたので話せなくなったら、その友達から「何で話してくれないの」と言われて、関係が悪くなった

子ども同士の関係が「うまくいかなかった」時に、
どうすれば解決しやすくなると思いますか？

大人

- ・子どもに困っていることがないか、子どもの様子を気にかける
- ・子ども同士で問題を解決した後、必要以上に口を出さない
- ・子ども同士が仲良くできるように、自分の経験をもとにアドバイスする
- ・子どもは自分の考えを持っているので、親同士の仲がよくない場合でも親の考えを子どもに押しつけない
- ・子どもの話を聞く

子ども

- ・相手の気持ちも考えながら、納得いくように自分達で冷静に話し合う
- ・困ったことがあった時は、大人や友達に相談する
- ・からかっている人がいれば、「そのへんにしとけよ」と声をかける
- ・からかっている人をとめることは難しくても、からかわれた人に「大丈夫？」と声をかけて寄り添う
- ・からかっている人がいたと大人に伝える

大人・子ども

- ・大人は、子ども同士の問題をできるだけ子ども自身で解決できるように見守り、子どもは、本当に困った時は大人に相談する

(3)フリートーク

<小学生>

ミーティングを通じて新たに気づいたこと

尼崎市には課題があること

「こういう言動は人の迷惑になるのでしない」と、自分で決めておくことが大切だということ
話し合うことの大切さ

- ・子ども同士の関係について話し合って、どのように解決したらよいか分かった
- ・自分と似ている意見でもそれぞれの考えがあるので、人の意見を聞くことが大切だと気づいた

明日からやってみようと思うこと

尼崎市をごみのないまちにする

自分の言動に気をつける

いじめている人がいたら注意する

自分ができそうなことには積極的に取組んで、できることを増やす

ごみをポイ捨てしたり信号無視をしている人がいたら注意する

地域のイベントに参加して、色んなことを学ぶ

ケンカやいじめをとめる

ケンカをした時は殴り合わず、落ち着いて相手の意見を

を聞いて、話し合いで解決する

友達のよいところを見つける

<中学生>

ミーティングを通じて新たに気づいたこと

色んな意見があること

人の意見を参考にしたら色んなことを考えられるので、話し合うことが大切だと気づいた

みんなが意識を高く持つことで、尼崎市はもっとよいまちになる

自分は解決できない問題だと思っていなくても、解決できると考えている人がいること

明日からやってみようと思うこと

意識して行動する

- ・周りの人の迷惑になることをしていないか考えて行動する

- ・からかっている人をとめることはできなくても、からかわれた人に声をかけて寄り添う

自分の生活態度を見直す

尼崎市の課題とその改善策が分かったので、尼崎市をよくするために、できることから始める

地域とつながることの大切さが分かったので、地域の行事に参加したり、地域の人に挨拶をして関係を築く

これまで親とあまり話さなかったが、学校での出来事などを少しでも話す

学校で「相手を思いやる気持ちを持つ」ということを教えてもらっているので、学んだことを意識して行動する

学校の代表として生徒会ができそうなこともあったので、取組めるように考える

ティーンズミーティングで出た意見や感じたことを、友達に伝える

参加した感想

<小学生>

普段から思っていることを言えてよかった

自分では考えつかない意見を聞くことができてよかった

地域のことを話し合う場はあまりなかったので、よい経験になった

楽しかった

まちの安全など、普段考えないテーマについてみんなの意見を聞きながら話し合えてよかったし、楽しかった

尼崎市はまだまだ成長できるということが分かったので、少しでもよいまちになって欲しい

みんなで話し合って改めて分かったこともあったので、とても勉強になった

<中学生>

ファシリテーターがいると意見を言いやすく、普段から思っていることを言えてよかった

尼崎市をよくするために意見を出し合えてよかった

自分では考えつかない意見を聞いてよかった、楽しかった

ティーンズミーティングで出た意見が、地域の人や市役所の取組に活かされたら嬉しい

時間が過ぎるのが早く感じるくらい、楽しかった

ティーンズミーティングに参加して、尼崎市をもっとよくしたいと思った

当たり前のことをしようという意見が多かったので、みんなが常識的な行動ができればよいと思った

第3章 子どもの思いや考え（詳細版）

小分類や内容に掲載している意見のうち、特徴的な意見には*印を、意見に対する別の意見には 印を付して掲載しているケースがある。

全体的な傾向を見るために、各表の右端の列に、テーマごとの意見数を分母とし、分類ごとの意見数の合計を分子とした割合を示し、 の意見は割合の多い順番で掲載している。（この割合については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、テーマごとの合計値が100%にならない場合がある。）第1部の の意見は、 で出た意見に対して、「大人」「子ども」「大人・子ども」ができることの順番に掲載している。

各テーマに対して直接答えていない意見については、各表の下に「その他の意見」として掲載している。

第1部については、 の「どうすれば実現しやすくなると思いますか?」「どうすれば改善しやすくなると思いますか?」の問いかけに対する意見については、 のどの意見に対応しているものか分かりやすくするために、 の意見の前に、 の意見を掲載している。

第1部

地域の大人と子どものつながり

地域の大人力を借りて実現してみたいこと

小学生 16 ページ、中学生 18 ページ

- 地域の大人力を借りて実現してみたいことってどんなこと?
- どうすれば実現しやすくなると思いますか?

地域の大人に改善してもらいたいこと

小学生 20 ページ、中学生 24 ページ

- 地域の大人に改善してもらいたいことってどんなこと?
- どうすれば改善しやすくなると思いますか?

第2部

子ども同士のつながり

子ども同士の関係を、よりよくするためにできること

小学生 26 ページ、中学生 29 ページ

- 子ども同士の関係が「うまくいかなかったこと」ってありますか? その理由は何ですか?
- 子ども同士の関係が「うまくいかなかった」時に、どうすれば解決しやすくなると思いますか?

フリートーク

- ミーティングを通じて新たに気づいたこと、明日からやってみようと思うこと

小学生 31 ページ、中学生 33 ページ

- 参加した感想

小学生 34 ページ、中学生 35 ページ

地域の大人の力を借りて実現してみたいこと(小学生)

地域の大人の力を借りて実現してみたいことってどんなこと？

大分類	小分類	件数		割合	
		大分類計	小分類計	大分類計	小分類計
学びたい	昔から尼崎市に住んでいる人から、尼崎市の歴史や文化について学びたい *寺町にあるお寺や、市内の工場	8	4	22.2%	11.1%
	映像や数字を活用して、命の大切さやありがたさを学びたい *交通ルール・マナーを守らなくて起きた事故の映像		3		8.3%
	大人と交流して昔の知恵や遊びなど、色んなことを聞きたい		1		2.8%
仕事について知りたい	どんな仕事をしているのか、地域の人から話を聞きたい *コミュニケーションの取り方が上手い接客業の人	8	3	22.2%	8.3%
	就きたい仕事に就く方法は調べれば分かるので、将来なりたい仕事に就いている人に仕事内容の話を知りたい		2		5.6%
	仕事の体験をしたい *商店街で小学生が商売をする		2		5.6%
	将来なりたい仕事の見学をしたい		1		2.8%
まちをきれいにしたい	まちをきれいにするために、ごみ拾いの活動をしたい *公園にごみが落ちている *夏祭りの後にごみが落ちている 「子ども会の活動で、地域のごみ拾いをしている」という意見あり	7	5	19.4%	13.9%
	きれいなまちにするために、ポイ捨てする人をなくしたい		2		5.6%
色んな人と交流したい	イベントを企画して、地域の人ともっと交流したい *お祭りや運動会、市民みんなが参加できるスポーツイベント	6	4	16.7%	11.1%
	動物とのふれあいを通じて、大人と仲良くなりたい		1		2.8%
	違う学校の人と知り合いになりたい		1		2.8%
災害に備えたい	地震や津波が来た時に備えて、地域の人と学校と一緒に、避難訓練をしたい 「避難訓練をする時は、火事が起きた時の映像を見てから実施した方が、危機感を持って参加できる」という意見あり	4	3	11.1%	8.3%
	地震が来た時に備えて、炊き出しや生活用品を支給するボランティア活動をしたい		1		2.8%
ボランティア活動をしたい	地域のために、ボランティア活動をしたい *障害を持った人やお年寄りを介護するボランティア	3	2	8.3%	5.6%
	災害被災地域への募金活動をしたい		1		2.8%
環境を守る取組をしたい	公園や道路にリサイクルボックスを置いてトレイや空き缶を回収して、リサイクルに組みたい	3	2	8.3%	5.6%
	森林が少ないので、植樹活動をしたい		1		2.8%
いじめを減らしたい	いじめを減らしたい	2	2	5.6%	5.6%
その他	スポーツ選手になれるように、経験豊富な人に指導して欲しい	3	1	8.3%	2.8%
	中学校の授業を体験したい		1		2.8%
	車がたくさん通ったり人目につきにくい危険な場所を、地図にまとめたい		1		2.8%
		36	36	100.0%	100.0%

地域の大人の力を借りて実現してみたいこと(小学生)

どうすれば実現しやすくなると思いますか？

実現してみたいこと	誰が		内容(どうすればよい?)	件数	割合
	大人	子ども			
尼崎市の歴史や文化について学びたい			子どもの自由研究にもなるので、お寺の僧侶が写真を活用しながら、寺町の歴史について話す機会をつくる	2	7.4%
			高齢者施設へ行ってお年寄りと話をして、尼崎市の歴史を教えてもらう	1	3.7%
			家族や地域の人と一緒に、尼崎市の歴史を学びに行く *資料館や寺町周辺へ行く *尼崎市内の工場へ行く	4	14.8%
映像や数字を活用して、命の大切さやありがたさを学びたい			周囲の人のおかげで、今の自分達の生活が成り立っていると分かる映像を見る	1	3.7%
			命の大切さを学ぶ映像を見た後に、クラスで啓発ポスターをつくる 「人権標語やポスターでの啓発だけでは理解できない人もいるので、どういう行為が危険かを具体的に書いたポスターをつくる」という意見あり	2	7.4%
			大人は子どもに、子どもは将来大人になった時に次の世代に、自分が学んできた命の大切さを教える	1	3.7%
大人と交流して昔の知恵や遊びなど、色んなことを聞きたい			趣味や得意なことを地域の人に伝えられる場をつくる *竹とんぼなど昔の遊び道具のつくり方	2	7.4%
			公民館などを活用して、テーマを決めて大人も子どもも一緒に話し合える機会をつくる	1	3.7%
仕事の体験をしたい			商店街で小学生が商売をしてみたいと、商店街や市役所の人に相談する	2	7.4%
将来なりたい仕事の見学をしたい			どんな職業に就きたいかアンケートをとって、子ども達の考えを知ってから仕事の見学に行く	1	3.7%
まちをきれいにするために、ごみ拾いの活動をしたい			ごみ拾いをしようと、地域の人や先生に声をかけたり、チラシをつくって呼びかける *町内会の会長に相談に行く	4	14.8%
イベントを企画して、地域の人ともっと交流したい			地域運動会を知らない人がいるので、学校が周知に協力する	1	3.7%
			子どもからお年寄りまでが参加するには、今ある体育館や運動場だけでは足りないので、スポーツができる会場をもっとつくる	1	3.7%
			イベントの企画から参加する *色んな人に来てもらうために、ポスターをつくる	2	7.4%
			子ども同士で誘い合って、イベントに参加する	1	3.7%
			地域運動会や地域に動物がいる広場があることを知っている人は、友達に知らせる	1	3.7%
			地域が持っている放送器具を使って、子どもが地域の情報やイベントを周知する	1	3.7%
			地域の情報をたくさんの人に伝える方法を考えて、大人には何を手伝って欲しいか伝える *案内状をつくって掲示板で案内する	3	11.1%
			イベントに参加する人は、仲良くする	1	3.7%
地域のために、ボランティア活動をしたい			今までボランティア活動をしてきた高齢者と一緒に、活動する	1	3.7%
災害被災地域への募金活動をしたい			友達に呼びかけて募金活動をして、集まったお金は市役所から被災地に届ける	1	3.7%
トレイや空き缶を回収して、リサイクルに組み込みたい			回収した物品でつくったりサイクルボックスに実物の空き缶やペットボトルをつけて、分別しやすくする 「写真をつけて例を示す方がよい」という意見あり	3	11.1%
			ペットボトルのリサイクルボックスの形をペットボトルの形にするなど、分かりやすく興味を持ってもらえるような工夫をする	2	7.4%
経験豊富な人にスポーツの指導をして欲しい			スポーツのルールをよく分かっている人が子どもに教えられるように、スポーツ指導員を免許制にする	2	7.4%
			27	100.0%	

地域の大人の力を借りて実現してみたいこと(中学生)

地域の大人の力を借りて実現してみたいことってどんなこと？

大分類	小分類	件数		割合	
		大分類計	小分類計	大分類計	小分類計
仕事について知りたい、体験したい	仕事の話を知りたい、体験したい *親がどのようにしてお金を稼いでいるのか知りたい	5	2	26.3%	10.5%
	トライやる・ウィークで体験できる職種を増やして欲しい 「トライやる・ウィークをまだ経験していないので、『働く』ということがどういうことか、よく分からない」という意見あり		2		10.5%
	トライやる・ウィーク中は、その企業の従業員と同じように接して欲しい		1		5.3%
色んな人と交流したい	高校生や大学生から、学校生活の話を知りたい 「行きたい高校のホームページを見るだけでは、本当の高校生活がイメージできない」という意見あり	4	2	21.1%	10.5%
	自分達と年の近い高校生や大学生に、部活の指導をして欲しい		1		5.3%
	他校の生徒会がどんな活動をしているのか知りたい		1		5.3%
まちをきれいにしたい	まちにごみが多いので、ごみ拾いなどをしてまちをきれいにしたい	2	2	10.5%	10.5%
地域のイベントに参加したい	中学生が企画から参加できる、地域のイベントを増やしたい *流しそうめん	2	2	10.5%	10.5%
地域に子どもの居場所をつくりたい	親が家に帰ってくるまで、ご飯を食べたりして子どもが安心して過ごせる地域の居場所をつくりたい	2	2	10.5%	10.5%
学びたい	18歳から選挙に行けるようになったが、「選挙」というものがよく分からないので、模擬選挙をしたい	2	1	10.5%	5.3%
	伝統文化を学ぶために、着物の着付けや郷土料理の作り方などを教えてもらいたい		1		5.3%
その他	尼崎市や校区のイメージアップをしたい	2	1	10.5%	5.3%
	木を植えて緑を増やして、地球温暖化対策に取り組みたい		1		5.3%
		19	19	100.0%	100.0%

地域の大人の力を借りて実現してみたいこと(中学生)

どうすれば実現しやすくなると思いますか？

実現してみたいこと	誰が		内容(どうすればよい?)	件数	割合
	大人	子ども			
仕事の話や聞いた り、体験したりした い			「20歳からは大人です」と言われてもどうしたらよいか分からないので、「大人」とはどういう 人のことを言うのか、子どもに教える	1	5.3%
			職業体験が難しい職種は、その仕事をしている人から話を聞く機会をつくる	1	5.3%
			子どもが将来どんな職業に就きたいと思っているのか、大人に伝える機会をつくる	1	5.3%
			高校生や大学生は「大人になって働く」とはどういうことかイメージが湧きにくいと思うので、大 人と子どもが交流する機会をつくる	1	5.3%
高校生や大学生か ら、学校生活の話 を聞きたい			中学生と高校生がお互いに学校を行き来して、交流する機会をつくる *3年生は受験勉強で忙しいので、1・2年生の時に授業の一環で交流する	2	10.5%
他校の生徒会がど んな活動をしている のか知りたい			生徒会の活動報告書を他校に配る	1	5.3%
まちにごみが多い ので、ごみ拾いなど をしてまちをきれい にしたい			放課後や休日は忙しいので、全員が参加できるように、授業でごみ拾いの活動をする	1	5.3%
中学生が企画から 参加できる、地域の イベントを増やした い			親が子どもの成長を見ることができるよう、親子で参加できるイベントを考える	1	5.3%
親が家に帰ってくる まで、ご飯を食べた りして子どもが安心 して過ごせる地域 の居場所をつくりた い			地域の大人は「親が帰ってくるまで子どもが1人で家に居る」という状況を知らないかもしれな いので、子どもの状況を知ってもらうために、地域の大人と子どもがかかわる機会を増やす	1	5.3%
18歳から選挙に行 けるようになった が、「選挙」というも のがよく分からない ので、模擬選挙を したい			授業で選挙について教える	1	5.3%
			生徒会役員を決める時に、本当の選挙と同じ備品や手順で行う	1	5.3%
伝統文化を学ぶた めに、着物の着付 けや郷土料理の作 り方などを教えても らいたい			放課後や休日は忙しいので、家庭科の授業などに講師を呼ぶ	1	5.3%
			引き継がれている感じがするから、母や祖母から着物の着付けを覚えてもらう	1	5.3%
尼崎市や校区のイ メージアップをした い			事件の報道だけだと悪いイメージになるので、事件数が減ったかどうかも報道する	1	5.3%
			有料テレビやラジオで楽しいイベントを子どもが紹介するなど、よい面についても報道する 「メディアで取上げられる時は、地域の人に知らせる」という意見あり	4	21.1%
			中学校間の偏見をなくすために、中学校同士の交流を増やす	1	5.3%
				19	100.0%

地域の大人に改善してもらいたいこと(小学生)

地域の大人に改善してもらいたことってどんなこと？

大分類	小分類	件数		割合	
		大分類計	小分類計	大分類計	小分類計
自転車は交通ルール・マナーを守って欲しい	周りの人に危険が及ぶような、自転車の乗り方をしないで欲しい *二人乗りや手放し運転をしている人がいる *信号無視をしたり、交差点での左右確認をしない人がいる *スマートフォンなどの操作をしたり、イヤホンをつけて運転している人がいる 「イヤホンをつけていたりお酒を飲んで自転車を運転している人に、ぶつかられて怪我をしたことがある」という意見あり	17	11	19.8%	12.8%
	自転車の交通事故を減らして、安全なまちにして欲しい 「自転車は車の一種だという意識を持って欲しい」という意見あり		3		3.5%
	自転車は通行場所を守って欲しい *自転車歩行者道では、歩行者の方にはみ出さないで欲しい		2		2.3%
	塾の駐輪場に、関係者以外が自転車を置くのはやめて欲しい		1		1.2%
公園を利用しやすくして欲しい	公園にごみをポイ捨てしないで欲しい 「公園が汚れていると、気持ちよく遊べない」という意見あり	13	7	15.1%	8.1%
	公園の設備を大切に使って欲しい *遊具にガムをつけたり、落書きしたりする人がいる		2		2.3%
	公園のトイレは、男女別々にして欲しい		1		1.2%
	帰る時間が分からないので、公園に時計を設置して欲しい		1		1.2%
	公園の中に自転車置き場をつくって欲しい		1		1.2%
	公園の地面に蜂の巣があって怖いので、駆除して欲しい		1		1.2%
子どもへの接し方を考えて欲しい	よくない言動をしている子どもがいたら、大人が注意して欲しい 「子どもから注意しても聞いてくれない」という意見あり	9	7	10.5%	8.1%
	騒いでいる子どもを大人が注意するのは分かるけれど、必要以上に怒り続けるのはやめて欲しい		1		1.2%
	ささいなことで、暴言を吐かないで欲しい		1		1.2%
タバコを吸う人は、ルール・マナーを守って欲しい	周りに人がいる時は、タバコを吸わないで欲しい 「子どもの顔に煙がかかって煙たい」という意見あり	9	4	10.5%	4.7%
	タバコの吸殻をポイ捨てしないで欲しい 「タバコの火がついたままだと、火事になるかもしれない」という意見あり		3		3.5%
	タバコは喫煙スペースで吸って欲しい		2		2.3%
一般的なマナーを守って欲しい	犬のフンを持ち帰って欲しい	9	2	10.5%	2.3%
	みんなが利用する場所で植物を育てる人がいるが、気づかずに怪我をする人がいて危険なのでやめて欲しい *道路の角や、高速道路の高架下の公園で植物を育てる人がいる		2		2.3%
	バスや電車の中では、お年寄りや妊婦さんに優先座席を譲って欲しい 「お年寄りや妊婦さんがいると分かっているけど、気づかないふりをする人がいた」という意見あり		2		2.3%
	公園のトイレが臭いので、きれいに使って欲しい		1		1.2%
	道路につばを吐かないで欲しい		1		1.2%
	マンションで生活する人は、生活騒音に気をつけて欲しい		1		1.2%
歩きながらスマートフォンを操作しないで欲しい	歩きながらスマートフォンを操作するようなゲームをつくらないで欲しい	8	4	9.3%	4.7%
	歩きながらスマートフォンを操作しないで欲しい 「私がお年寄りや妊婦さんを見ても、相手は前が見えていないからぶつかって来た」という意見あり		4		4.7%

(次頁に続く)

地域の大人に改善してもらいたいこと(小学生)

地域の大人に改善してもらいたことってどんなこと？

大分類	小分類	件数		割合	
		大分類計	小分類計	大分類計	小分類計
動物とのかかわり方をもっと考えて欲しい	人懐っこくなるので、面倒を見ないのに猫に餌をあげないで欲しい	6	3	7.0%	3.5%
	猫を虐待する人がいるが、生き物の命を大切にしたい		2		2.3%
	ハトのフンが落ちてくるので、マンションのベランダでハトに餌をあげないで欲しい		1		1.2%
道路上でのマナーを守って欲しい	子どもが寝る時間や夜遅くに、道路で騒がないで欲しい *大声で話したり、歌を歌う人がいる *コンビニの前で騒ぐ人がいる	4	4	4.7%	4.7%
ごみ出しのマナーを守って欲しい	動物がごみを荒らさないように、動物よけネットをごみ袋にかけたり、収集場所の鍵をきちんとかけたりして欲しい	3	2	3.5%	2.3%
	夜にごみを捨てると放火されるかもしれないので、やめて欲しい		1		1.2%
安全なまちにして欲しい	不審者がいるとよく聞くので、校区内のパトロールを増やして欲しい	3	2	3.5%	2.3%
	子ども110番の家の印が小さくて分かりにくいので、もっと目立たせて欲しい		1		1.2%
その他	お年寄りだけでなく、若い人もごみ拾い活動に参加して欲しい	5	1	5.8%	1.2%
	道端の雑草が伸びすぎていて怪我をしたので、もう少し早い時期に刈って欲しい		1		1.2%
	車は制限速度を守って走って欲しい		1		1.2%
	自転車専用道路をもっと整備して欲しい		1		1.2%
	地域にもっと、駄菓子屋さんを増やして欲しい		1		1.2%
		86	86	100.0%	100.0%

地域の大人に改善してもらいたいこと(小学生)

どうすれば改善しやすくなると思いますか？

改善して欲しいこと	誰が		内容(どうすればよい?)	件数	割合
	大人	子ども			
周りの人に危険が及ぶような、自転車の乗り方をしないで欲しい			火の用心の夜回りをする時に「自転車の乗り方を守ろう」という呼びかけも一緒にする	1	1.2%
			身近な人に呼びかけることから始めて、注意できる人を増やしていく	2	2.5%
			「自転車に乗りながらスマートフォンを操作していたら、こんな事故に遭いました」という劇をして、地域の人に危険さを知らせる	2	2.5%
			周りの人のことを考えた行動をする	1	1.2%
			「二人乗りはやめましょう」というポスターをつくって、学校に貼る	1	1.2%
自転車の交通事故を減らして、安全なまちにして欲しい			子どもの自転車事故の賠償金を親が払わないといけない時もあるので、交通ルール・マナーを守るように、子どもにきちんと教える	1	1.2%
公園にごみをポイ捨てしないで欲しい			公園の中にごみ箱を置く *家庭ごみを捨てられないように、捨て口を小さくする 「ごみ箱の近くにもごみが落ちていて、ごみ箱があっても入れない人は入れないので、ごみ箱は置かない方がよい」という意見あり	4	4.9%
			ごみを出さないように努力する *エコバックを持参する	3	3.7%
			監視カメラでポイ捨てした人を特定して、条例で罰金を科したり指導したりする	3	3.7%
			公園の中のごみ箱がどこにあるのか分かりにくいので、みんなの目につくところに置く	1	1.2%
			ごみ拾いをする	1	1.2%
			ごみ箱の捨て口に「ポイ捨て禁止」と書いたり、ごみの分別が分かるように絵を貼ったりする	3	3.7%
			ポイ捨てした人の目の前でそのごみを拾って、ごみ箱に捨てる	2	2.5%
			ポイ捨てしている大人に「ごみはごみ箱に捨ててください」と注意する 「子どもから注意されると辛いと思う」という意見あり	2	2.5%
			校区内でごみがたくさんポイ捨てされている場所を、大人に伝える	1	1.2%
			ポスターをつくって、ごみをポイ捨てしないように呼びかける 「ポスターを貼っても、ポイ捨てする人はする」という意見あり	5	6.2%
			自分で出したごみは家に持ち帰る	2	2.5%
			リサイクルできるものはリサイクルボックスに捨てるように、身近な人に呼びかける	2	2.5%
			買物の量が少ない時は、レジ袋を断る	1	1.2%
			牛乳パックをまな板にして使うなど、再利用を心がける	1	1.2%
			ポイ捨てしている人がいたら、注意する	1	1.2%
			ポイ捨てしないように気をつける	1	1.2%
			「もっとまちをきれいにしないとイケない」という意識を持つ	1	1.2%
		飲食や喫煙できる場所を決める	1	1.2%	

(次頁に続く)

地域の大人に改善してもらいたいこと(小学生)

どうすれば改善しやすくなると思いますか？

改善して欲しいこと	誰が		内容(どうすればよい?)	件数	割合
	大人	子ども			
遊具にガムをつけたり、落書きしたりする人がいる			落書きを消すだけでなく、監視カメラをつけて見張る 「監視カメラを目につくところに設置すると、落書きしなくなる」という意見あり	4	4.9%
			公園管理者は、ガムを取る器具を用意する	1	1.2%
			落書きをしている人を見かけたら、近くの大人に伝えたり子どもが注意したりする	2	2.5%
			ガムは紙に包んでごみ箱に捨てる	1	1.2%
			落書きを消すだけでなく、「落書きしないで」と呼びかけるポスターをつくる	1	1.2%
よくない言動をしている子どもがいたら、大人が注意してほしい			子どもの見守り活動をする人は、学校ではどんなことをしたら叱るのか知った上で、よくない言動をしている子どもがいたら注意する	1	1.2%
			子どもからも注意するが、それでも聞いてくれない時は大人が注意する	1	1.2%
タバコの吸殻をポイ捨てしないで欲しい			ポイ捨てしないように呼びかけるポスターをつくって、タバコの吸殻のポイ捨てが多い場所に貼る	1	1.2%
人懐っこくなるので、面倒を見ないのに猫に餌をあげたりしないで欲しい			猫に餌をあげるだけで飼えないなら、保護施設に預ける 「餌をあげるなら、きちんと家で飼う」という意見あり	3	3.7%
			野良猫を保護する施設を増やす	1	1.2%
			「野良猫の行動に困っています」というチラシを配って、地域の人が対処方法を考える	1	1.2%
猫を虐待する人がいるが、生き物の命を大切にしたい			動物に残酷なことをしない	1	1.2%
校区内のパトロールを増やして欲しい			まちの安全を守るために、ボランティアの人や警察が見回りをする 「不審者に顔を覚えられないように、毎週違う人がパトロールする」 「不審者がいて危険なので、午後5時には子どもが家に帰るように、見回りをする」 という意見あり	6	7.4%
			不審者を見かけたら、逃げる	1	1.2%
			不審者に声をかけられても、相手にしない	1	1.2%
			不審者を見かけた場所や人目につきにくい場所を地図にして、地域の人や先生に知らせる *地域の掲示板に貼る *学校から登下校の見守りサービスなどでメール配信する	6	7.4%
			子どもから聞いた不審者情報を参考にパトロールの場所を決めたり、暗い場所には街灯を設置してもらえるように働きかけたりする	2	2.5%
お年寄りだけでなく、若い人もごみ拾い活動に参加してほしい			地域主催の清掃活動の回数を増やす	1	1.2%
			協力者を集めて、大人と子どもと一緒にごみ拾いをする	3	3.7%
				81	100.0%

その他の意見	子ども会の活動で、公園の設備が汚れたら掃除をしている
--------	----------------------------

地域の大人に改善してもらいたいこと(中学生)

地域の大人に改善してもらいたことってどんなこと？

大分類	小分類	件数		割合	
		大分類計	小分類計	大分類計	小分類計
交通ルール・マナーを守って欲しい	自転車や歩行者は、子どもの目の前で当然のように信号無視をしないで欲しい	8	2	21.6%	5.4%
	車も自転車も歩行者もみんな、「交通ルール・マナーを守る」という意識を持って欲しい		2		5.4%
	車や自転車は駐車(輪)場所を守って欲しい 「自転車専用レーンに車がとまっていると、自転車が通れなくて困る」という意見あり		2		5.4%
	自転車やバイクは通行場所を守って欲しい *自転車が右車線を走っている *バイクが歩道を走っている		2		5.4%
タバコを吸う人はルール・マナーを守って欲しい	タバコの吸殻をポイ捨てしないで欲しい *タバコの火がついたまま、ポイ捨てしている人がある	7	5	18.9%	13.5%
	歩きタバコをやめて欲しい		2		5.4%
ごみの出し方を守って欲しい	ごみをポイ捨てしないで欲しい *草むらに缶などのごみを捨てていく人がある	6	4	16.2%	10.8%
	学校の周りに、捨てるのにお金がかかる大型ごみを捨てていくのはやめて欲しい		1		2.7%
	動物がごみを荒らさないように、収集場所にあるネットをごみ袋にきちんとかけて欲しい		1		2.7%
道路上でのマナーを守って欲しい	夜に道路で、大声で話すのはやめて欲しい *お酒を飲んでいると、声が大きくなってうるさい	4	2	10.8%	5.4%
	歩きながらスマートフォンを操作しないで欲しい		1		2.7%
	ペットのフンは道路上に放置せず、飼い主がきちんと持ち帰って欲しい		1		2.7%
バスや電車の中でのマナーを守って欲しい	バスや電車の中でのマナーを守って欲しい *大きな声で話したり、必要な人に席を譲らない人がある 「体調が悪い時もあるので、『若い人は必ず席を譲りなさい』と言わないで欲しい」という意見あり	3	3	8.1%	8.1%
子どもへの接し方を考えて欲しい	大人は子どもに「歩きながらスマートフォンを操作したり、道路で大声で話すな」と言うけれど、大人もしているのだから、自分の行動を振り返って欲しい	3	1	8.1%	2.7%
	子どもがよくないことをしていたら頭ごなしに怒るのではなく、何がダメなのかを教えて欲しい		1		2.7%
	自転車のルールを守って車道を走っているのに、車の運転手が「邪魔だ」と怒鳴るのはやめて欲しい		1		2.7%
バリアフリーについて考えて欲しい	まちなかのバリアフリーについて、もう少し考えて欲しい *駅のエレベーターはホームの端にあるので、本当に必要な人が利用しにくい	2	2	5.4%	5.4%
武庫川河川敷の使い方を守って欲しい	武庫川河川敷の使い方を守って欲しい *打ち上げ花火をして騒いでいる人がある	2	2	5.4%	5.4%
その他	学校に不審者が近寄らないようにして欲しい	2	1	5.4%	2.7%
	長距離バスで後ろの座席に人がいたら、背もたれを倒さないで欲しい		1		2.7%
		37	37	100.0%	100.0%

地域の大人に改善してもらいたいこと(中学生)

どうすれば改善しやすくなると思いますか？

改善して欲しいこと	誰が		内容(どうすればよい?)	件数	割合
	大人	子ども			
自転車や歩行者は、子どもの目の前で当然のように信号無視をしないで欲しい			スピード違反のように、信号無視をした人をカメラで撮影する	1	5.3%
			歩行者用信号は待ち時間が分かるようにする	1	5.3%
			歩行者用信号や横断歩道がない交差点は、渡ってよいのか分かりにくいので、横断歩道などを設置する	1	5.3%
			大人に「マナー違反は恥ずかしいことだ」と自覚させるために、子ども達がまず交通ルール・マナーを守る	1	5.3%
「交通ルール・マナーを守る」という意識を持って欲しい			親子でボランティアに参加して、交通ルール・マナーを守るように呼びかけるポスターをつくる	1	5.3%
			交通ルール・マナーを守るという意識を高める	1	5.3%
自転車やバイクは通行場所を守って欲しい			自転車が逆走しないように、「逆走禁止」の看板をつくる	1	5.3%
タバコの吸殻をポイ捨てしないで欲しい			ポイ捨てや歩きタバコをなくすために、まちなかに喫煙場所をつくる	1	5.3%
			タバコを吸う人は、携帯灰皿を持ち歩く	1	5.3%
			知っている人がタバコの吸殻をポイ捨てしていたら、「ポイ捨てしないで」と言う	1	5.3%
ごみをポイ捨てしないで欲しい			ごみ箱を増やす 「まちなかにごみ箱を置かない方がまちがきれいになったと聞くので、ごみ箱を置かない方がよい」という意見あり	2	10.5%
			ごみ箱のある位置を書いた地図をつくる	1	5.3%
			自分で出したごみは家に持ち帰る	1	5.3%
夜に道路で、大声で話すのはやめて欲しい			酔うと声が大きくなるので、何杯までならお酒を飲んでいいか家族で話し合う	1	5.3%
歩きながらスマートフォンを操作しないで欲しい			「歩きながらスマートフォンを操作しないで」と注意を促す物を貼る	1	5.3%
武庫川河川敷の使い方を守って欲しい			打ち上げ花火の音や騒ぎ声がうるさいので、打ち上げ花火ができる場所を決める	1	5.3%
学校に不審者が近寄らないようにして欲しい			日頃から地域の人と交流して、不審者がいた時に助けてもらえるような関係をつくる	1	5.3%
			危険な場所や子ども110番の家がどこにあるかを書いた、校区内の防犯マップをつくって配る	1	5.3%
			19	100.0%	

子ども同士の関係を、よりよくするためにできること(小学生)

子ども同士の関係が「うまくいかなかったこと」ってありますか？その理由は何ですか？

大分類	小分類	件数		割合	
		大分類計	小分類計	大分類計	小分類計
人のことをからかう人がいた	男女で仲良く遊んでいると冷やかしたり、勝手な噂を流す人がいた	11	3	15.7%	4.3%
	からかわれている人が「やめて」と言っても、からかい続ける人達がいた 「からかわれている人を助けようとしたけれど、できなかった」という意見あり		3		4.3%
	からかわれたので腹が立って、殴り合いのケンカになった *社会見学の行き先で希望が叶った人が、叶わなかった人をからかった		2		2.9%
	1人で下校していたら「寂しいやつ」とからかわれたので言い返したら、言い合いになった		1		1.4%
	障害者だという理由でからかって、相手を傷つけている人がいた		1		1.4%
	しつこくからかってくる人がいたから叩き返したら、相手が泣いてしまった		1		1.4%
自己中心的な言動をする人がいた	ケンカをした時に相手を非難するだけで、自分の悪いところを認めない人がいた	7	3	10.0%	4.3%
	自分の意見が通らないと文句を言う人がいた		2		2.9%
	自分は人の嫌がることをするのに、自分がされると泣く人がいた		1		1.4%
	ブランコの順番を代わって欲しいと言ったのに、聞こえないふりをされた		1		1.4%
仲間はずれにされた	いつも遊んでいた友達に「今日から他の子と遊ぶから、あなたとは遊ばない」と言われた	7	1	10.0%	1.4%
	友達と帰っている時に、後から来た子が友達を連れて走って行ってしまい、私だけが取り残された		1		1.4%
	4人で遊んでいる時に、2人がケンカになって、一方がケンカ相手をのけ者にしようとしたので、さらにケンカになった		1		1.4%
	5人で友達の家に遊びに行ったら、「4人しか家に入れな」と言われて帰ることになった1人が、嫌な思いをした		1		1.4%
	3人でいる時に2人にしか分からない話題が始まったので、話に入れなかった		1		1.4%
	3人で帰っていた時に、2人に話しかけたのに無視された		1		1.4%
	目の前で内緒話をされたので腹が立って文句を言ったら、相手が泣いてしまった		1		1.4%
意見が合わなくてケンカになった	自分と違う意見に文句を言う人がいて、ケンカになった 「『自分が正しい』と思っているから、ケンカになると思う」という意見あり	5	3	7.1%	4.3%
	好きなアニメについて話していたら、周りの人に馬鹿にされた		1		1.4%
	お互い、思い込みで話をしていたらケンカになった		1		1.4%
遊びや冗談がきっかけでケンカになった	最初は遊びや冗談だったのに、本気のケンカになった *チャンバラをしていたら棒が当たった *相撲をしていたら相手の技が痛かった *冗談を真に受けた	4	4	5.7%	5.7%
いじめている人がいた	いじめているのを見ている人が何人もいたのに、誰もとめに入らなかった 「いじめている人より年下の私達がとめに入っても言い返された」 「注意したらやめたが後日またいじめていた」という意見あり	4	3	5.7%	4.3%
	小さな子どもをいじめている人がいた				1
物の貸し借りがきっかけでうまくいかなかった	友達やきょうだいと物の取り合いになって、ケンカになった	4	2	5.7%	2.9%
	貸した物が壊れて返って来たり、借りた物を壊してしまったりしたので、うまくいかなかった				2

(次頁に続く)

子ども同士の関係を、よりよくするためにできること(小学生)

子ども同士の関係が「うまくいかなかったこと」ってありますか？その理由は何ですか？

大分類	小分類	件数		割合	
		大分類計	小分類計	大分類計	小分類計
ケンカが原因でうまくいかなかった	ケンカを反省したふりだけで、また同じことを繰り返している人がいた 「ケンカをした後に仲直りしても、本当はまだ許していない人がいるが、それはあまりよいことではない」という意見あり	4	2	5.7%	2.9%
	近くにいただけなのに、友達同士のケンカに巻き込まれた		1		1.4%
	ケンカをとめに入ってきた人に、怪我をさせてしまった		1		1.4%
秘密を守ってもらえなかった	秘密の話だと言ったのに、他の人に話されたのでケンカになった	4	2	5.7%	2.9%
	家の用事があるからと約束を断られたのに、その友達が本当は違う人と遊んでいた		1		1.4%
	待ち合わせをしていたのに、友達が先に帰ってしまって気まずくなった		1		1.4%
理不尽なことを言われた、された	サッカーボールを蹴って遊んでいたら、周りを見ていない人がボールに当たって「お前が悪い」と言ってきた	3	2	4.3%	2.9%
	何もしていないのに肩を押されたので文句を言ったら、言い返されて殴り合いのケンカになった		1		1.4%
不真面目な人に注意をしたら、うまくいかなかった	掃除をしない人がいたので注意したら、言い合いになった	3	1	4.3%	1.4%
	作業しないといけないうちに遊んでいる人がいたので注意をしたら、一緒に作業はしてくれたけれど、気まずかった		1		1.4%
	宿題係をしていた時に、宿題を持って来ない人に注意をしたら、叩かれた		1		1.4%
悪口がきっかけで関係が悪くなった	わざと本人に聞こえるように悪口を言う人がいた	3	1	4.3%	1.4%
	私の言動を演技だと思う人から「そのキャラ、やめた方がいいよ」と言われて、悪口に感じた		1		1.4%
	悪口を言われたので悪口を言い返したら、ケンカになった		1		1.4%
ささいなことがきっかけで、うまくいかなかった	隣同士の席でお互いの肘がぶつかったただけなのに、「わざとぶつけた」と言われてうまくいかなかった	3	1	4.3%	1.4%
	声をかけても反応がないのを無視されたと勘違いして、ケンカになった		1		1.4%
	ゲームで負けて泣いている子に「ゲームだから気にする必要ないよ」と言ったら、さらに泣いてしまった		1		1.4%
仲良くしようとしたのに、うまくいかなかった	仲良しの友達としか遊ばない人を遊びに誘ったら、「あなたのこと嫌いだから一緒に遊ばない」と断られて、気まずくなった	3	1	4.3%	1.4%
	初めて会った人を遊びに誘ったが、断られた		1		1.4%
	仲良くしようとしたけれど、相手の機嫌が悪くて仲良くなれなかった		1		1.4%
SNSがきっかけでうまくいかなかった	SNSやメールでは文字だけで表現するときつい言葉になってしまい、誤解が生まれた 「最近、SNSやメールでのいじめが多いとよく聞く」という意見あり	2	2	2.9%	2.9%
自分の言動がきっかけでうまくいかなかった	知らないうちに友達を傷つけていたと気づいたが、謝りたくても謝れなくて、うまくいかなかった	2	1	2.9%	1.4%
	給食中に歩き回っている人がいたから先生に報告したら、「先生に言わなくてもいいのに」と言われてうまくいかなかった		1		1.4%
その他	同じ人を好きになったので、友達同士の関係が悪くなった	1	1	1.4%	1.4%
		70	70	100.0%	100.0%

その他の意見	転校してきた時はみんなと話すきっかけが見つからなくて、話しかけられるのを待っていた
	「眠いから」「筋肉痛だから」という理由で学校を休む人がいるが、学校行事の練習が進まなくてみんなが困っていることを分かって欲しい
	身体的な理由で遊びに参加できない人のことを考えてクラス遊びを決めると、本当にやりたい遊びができない

子ども同士の関係を、よりよくするためにできること(小学生)

子ども同士の関係が「うまくいかなかった」時に、どうすれば解決しやすくなると思いますか？

誰が	内容(どうすればよい?)	件数	割合	
大人	ケンカをしている人に、なぜケンカになったのか聞く	1	1.8%	
子ども	ケンカをしつらいいじめている人を見かけたら、周りの子どもがとめに入ったり優しく注意したりする 「大人になれば自分達で問題を解決しないといけないので、すぐに大人に頼らない」という意見あり	6	10.9%	
	自分が言われて嫌な気持ちになるようなことは言わない 「そもそも余計なことを言わなければよい」という意見あり	5	9.1%	
	人の悪口を言う人に、「あなたの考えは本当に正しいの？自分がされたらどう思う？」と問いかける 「悪口を言う人をとめたり注意したりするのは難しい」という意見あり	4	7.3%	
	初めて会った人と遊ぶ時は、相手のことを聞いたりして親しくなることから始める 「初めて会った人でも遊んでいるうちに相手のことが分かってくるので、気軽に一緒に遊ぶ」という意見あり	4	7.3%	
	嘘をついたり仲間外れにしたり、人の嫌がることをしない	3	5.5%	
	色々な考え方があるということを分かった上で、広い心で相手を受け入れる *からかう人は本当は構って欲しいのかもしれないので、遊びの輪に誘う	3	5.5%	
	からかうのは相手のことを馬鹿にしているからだと思うので、その人のよいところを見つける 「周りの人はお互いによいところがあると教える」という意見あり	3	5.5%	
	ケンカをした時は、どっちが正しいか間違っているかではなく、自分のよくなかったところを認めて相手と話し合う	2	3.6%	
	人を傷つけるような言葉を言わないように心がける *「人に言ってはいけない言葉」を自分で決めておく	2	3.6%	
	ケンカをした時は、まずは自分から謝る 「謝られたら、相手も謝りやすくなると思う」という意見あり	2	3.6%	
	悪口を言われている人に、「気にすることないよ」と声をかける 「嫌なことを言われても、気にしている様子を見せない」という意見あり	2	3.6%	
	からかった人とからかわれた人の両方に、「ケンカはやめて楽しく遊ぼう」と声をかける	1	1.8%	
	からかった人が謝ることができるように、その人の友達が話し合える状況をつくる	1	1.8%	
	ケンカをした時は一度その場を離れて、冷静になってから話し合う	1	1.8%	
	子ども同士の関係がうまくいかない時は、先生や親に相談する	1	1.8%	
	SNSを使う時の注意点を学校で教わっても時間が経つと忘れるので、子ども同士で注意し合う	1	1.8%	
	同じ人を好きになったと知って関係が悪くなるのなら、そもそも恋愛話をしない	1	1.8%	
	遊びや冗談から本気のケンカにならないように、最初に「これは遊びだよ」と言う	1	1.8%	
	大人・子ども	ケンカをしている人がいたらまずはとめに入ったり子ども同士で話し合うが、それでもやめなかったら大人に相談して、大人がとめに入る 「大人は子どもが話し合える場をつくる」という意見あり	5	9.1%
		大人になれば自分で問題を解決しないといけないので、子ども自身が問題を解決できるように大人が子どもに助言したり、仲直りできる方法を一緒に考える	2	3.6%
障害者の大変さを体験できるイベントを企画する 「障害者の辛さや努力を知らずにからかう人は、その人の大変さを実感すると、からかわなくなると思う」という意見あり		2	3.6%	
いじめについて考える場をつくる		1	1.8%	
人をからかったりしないように、「人のよいところを見つける、相手が嫌がることを言わない」などのルールをつくって、学校に貼る		1	1.8%	
		55	100.0%	

子ども同士の関係を、よりよくするためにできること(中学生)

子ども同士の関係が「うまくいかなかったこと」ってありますか？その理由は何ですか？

大分類	小分類	件数		割合	
		大分類計	小分類計	大分類計	小分類計
SNSの使い方が きっかけでうまく いかなかった	SNSやメールでは文字だけで表現するときつい言葉になってしまい、誤解が生まれた	3	1	18.8%	6.3%
	SNSでの連絡を見ているはずなのに返事がなかったので、関係が悪くなった		1		6.3%
	SNSに投稿した内容の公開範囲を限定していたのに、その内容を色んな人に広められて、ケンカになった		1		6.3%
大人がケンカの 仲裁に入ったこと で、さらに関係 が悪くなった	ケンカをした時に子ども同士で解決できたことなのに、大人が仲裁に入ったことで、さらに関係が悪くなった	2	2	12.5%	12.5%
やる気のある人 とない人がいて ケンカになった	合唱コンクールの練習をしている時にやる気のある人とない人がいて、ケンカになった 「部活やクラスで活動する時は、集団の目的を意識して行動しないと全体の士気が下がる」という意見あり	2	2	12.5%	12.5%
冗談がきっかけ でうまくいかな かった	からかった人は冗談のつもりだったが、からかわれた人が「嫌だ」と思ったので、いじめのようになってしまった	2	1	12.5%	6.3%
	最後の一つのお菓子を「どうぞ」と言われたから食べたら、「なんで食べるのよ」と言われて、相手の意図が分からなかった		1		6.3%
意見が合わなく てうまくいかな かった	友達の意見と自分の意見が正反対だったので自分の意見を言えなくて、うまく会話ができなかった	2	1	12.5%	6.3%
	部員みんなで決めないといけないことがあったのに、意見が合わなくて分裂してしまった		1		6.3%
その他	物を貸してと言われたが、物の貸し借りをしないように言われているので貸さなかったら、ケンカになった	5	1	31.3%	6.3%
	中学生になったばかりの時に、先輩には敬語で話すとか分かっていなくて友達言葉で話しかけたら、怒られた		1		6.3%
	3人での時に2人が共通の話題で話すと、1人がのけ者になってケンカになった		1		6.3%
	仲直りができないくらいの大ゲンカをしてしまって、話さなくなった		1		6.3%
	友達の親から「うちの子と話さないで」と言われたので話せなくなったら、その友達から「何で話してくれないの」と言われて、関係が悪くなった		1		6.3%
		16	16	100.0%	100.0%

その他の意見	気が合わない人とは仲良くしようと思わないので、あえて自分から距離をおく
	友達とトラブルになって困ったことは、あまりない

子ども同士の関係を、よりよくするためにできること(中学生)

子ども同士の関係が「うまくいかなかった」時に、どうすれば解決しやすくなると思いますか？

誰が	内容(どうすればよい?)	件数	割合
大人	子どもに困っていることがないか、子どもの様子を気にかける 「親に何でも話せる子とそうでない子、かまって欲しい子とそうでない子がいるので、それぞれの子どもの性格を理解した上で声をかける」という意見あり	2	10.5%
	子ども同士で問題を解決した後に、必要以上に口を出さない	1	5.3%
	子ども同士が仲良くできるように、自分の経験をもとにアドバイスする	1	5.3%
	子どもは自分の考えを持っているので、親同士の仲が良くない場合でも親の考えを子どもに押しつけない	1	5.3%
	子どもの話を聞く	1	5.3%
子ども	相手の気持ちも考えながら、納得いくように自分達で冷静に話し合う 「話し合っても分かり合えなかったら、その人とは関わらない」という意見あり	4	21.1%
	困ったことがあった時は、大人や友達に相談する	2	10.5%
	からかっている人がいれば、「そのへんにしとけよ」と声をかける	1	5.3%
	からかっている人をとめることは難しくても、からかわれた人に「大丈夫?」と声をかけて寄り添う	1	5.3%
	からかっている人がいたと大人に伝える	1	5.3%
大人・子ども	大人は、子ども同士の問題をできるだけ子ども自身で解決できるように見守り、子どもは、本当に困った時は大人に相談する *部活の決めごとなど子どもだけで決めるのが難しい時は、大人に同席してもらう	4	21.1%
		19	100.0%

その他の意見	ケンカをしている時は相手の方が悪いと思うけど、周りの人の意見を聞くことで、自分のことを客観的に見ることができた
--------	---

フリートーク(小学生)

ミーティングを通じて新たに気づいたこと、明日からやってみようと思うこと

	大分類	小分類	件数		割合	
			大分類計	小分類計	大分類計	小分類計
気づいたことなど	尼崎市には課題があること	ごみのポイ捨てが多いなど、尼崎市の課題に気づいた	2	2	3.8%	3.8%
	自覚を持つことの大切さ	「こういう言動は人の迷惑になるのでしない」と、自分で決めておくことが大切だと気づいた *いじめは絶対にしてはいけない	2	2	3.8%	3.8%
	話し合うことの大切さ	子ども同士の関係について話し合っ、どのように解決したらよいか分かった	2	1	3.8%	1.9%
		自分と似ている意見でもそれぞれの考えがあるので、人の意見を聞くことが大切だと気づいた		1		1.9%
その他	身の回りには色んな危険があると分かった	1	1	1.9%	1.9%	
明日からやってみようと思うこと	尼崎市をごみのないまちにする	尼崎市がもっときれいなまちになるように、ごみが落ちていたら拾って、分別してごみ箱に入れる	9	6	17.0%	11.3%
		大人と一緒にごみ拾いのボランティア活動に参加して、ごみのないまちにする		1		1.9%
		絶対にごみをポイ捨てしない		1		1.9%
		ごみを出す時は、ごみ袋に動物よけネットをきちんとかける		1		1.9%
	自分の言動に気をつける	ティーンズミーティングで出た「よくない言動」を自分もしていたと気づいたので、これからは気をつける	6	2	11.3%	3.8%
		相手が嫌がることをしたと気づいたら、話し合っって謝る		2		3.8%
		ささいなことからケンカになるので、一つ一つの言動に気をつける		1		1.9%
		ケンカになった時でも、相手が嫌な気持ちにならないように考えて発言する		1		1.9%
	いじめている人がいたら注意する	勇気を出して行動すれば解決するかもしれないので、いじめている人がいたら注意する	5	4	9.4%	7.5%
		いじめている人がいたら「自分がされたらどう思う?」と声をかける		1		1.9%
	自分ができることを増やす	何でも大人に頼るのではなく、自分ができそうなことには積極的に取組んで、できることを増やす	3	3	5.7%	5.7%
	ルール・マナーを守っていない人に注意する	ごみをポイ捨てしたり信号無視をしている人がいたら注意する	3	3	5.7%	5.7%
	ボランティア活動に参加する	色んなボランティア活動に参加する *ボランティア活動を通して地域を知る	3	3	5.7%	5.7%
	地域のイベントに参加する	地域のイベントに参加して、色んなことを学ぶ *障害者の大変さを体験できるイベント *昔の知恵を学べるイベント *防災訓練	3	3	5.7%	5.7%
	ケンカやいじめをとめる	ケンカをしている人がいたら、どちらも納得できるように仲介する	3	2	5.7%	3.8%
いじめられている人を見かけたら、絶対に助ける		1		1.9%		
友達をいじめたり殴ったりしない	ケンカをした時は殴り合わず、落ち着いて相手の意見を聞いて、話し合いで解決する	3	2	5.7%	3.8%	
	友達をいじめていたことがあったので、これからはしない		1		1.9%	

(次頁に続く)

フリートーク(小学生)

ミーティングを通じて新たに気づいたこと、明日からやってみようと思うこと

	大分類	小分類	件数		割合	
			大分類計	小分類計	大分類計	小分類計
明日から やってみよう と思うこと	嘘や冗談から誤解が生じたら、謝る	冗談や嘘を本気と受け取られた時は、「冗談だった、嘘だった」と素直に謝る	2	2	3.8%	3.8%
	友達のことをよく知る	友達のよいところを見つける	2	1	3.8%	1.9%
		自分の考えはなかなか変えられないが、人の気持ちを理解できる人になる		1		1.9%
	その他	尼崎市には課題があると分かったので、少しでも解決できるように行動する	4	1	7.5%	1.9%
		家族や友達と一緒にできることがあると分かったので、実行する		1		1.9%
		もう少し大きな声で意見を言う		1		1.9%
		話し合いをする時は、ティーンズミーティングのルールや進め方を思い出して話し合う		1		1.9%
			53	53	100.0%	100.0%

フリートーク(中学生)

ミーティングを通じて新たに気づいたこと、明日からやってみようと思うこと

	大分類	小分類	件数		割合	
			大分類計	小分類計	大分類計	小分類計
気づいたことなど	色んな意見があること	自分では考えつかない意見があって、みんな色んな考えを持っていると分かった	8	5	20.0%	12.5%
		自分と同じ考えや、共感できる意見があると分かった		3		7.5%
	話し合うことの大切さ	人の意見を参考にしたら色んなことを考えられるので、話し合うことが大切だと気づいた	4	3	10.0%	7.5%
		きちんと自分の意見を言うことが大切だと気づいた		1		2.5%
	尼崎市はもっとよいまちになれる	みんなが意識を高く持つことで、尼崎市はもっとよいまちになると思った	3	1	7.5%	2.5%
		大人と子どもが一緒になって取り組むことで、尼崎市がよいまちになると分かった		1		2.5%
		市役所の取組をもっと周知したら、尼崎市はよいまちになると思った		1		2.5%
	その他	子どもがしっかり育つために、大人は色んなことを考えていると分かった	3	1	7.5%	2.5%
		思いやりの気持ちを持って人と接することの大切さに気づいた		1		2.5%
		自分は解決できない問題だと思っても、解決できると考えている人がいることに気づいた		1		2.5%
明日からやってみようと思うこと	意識して行動する	周りの人の迷惑になることをしていないか考えて行動する	9	2	22.5%	5.0%
		自分が大人の見本となるように、ルール・マナーを守って行動する		1		2.5%
		からかっている人をとめることはできなくても、からかわれた人に声をかけて寄り添う		1		2.5%
		気づかないうちに友達を傷つけていないか考える		1		2.5%
		自分の生活態度を見直す		1		2.5%
		自分の考えをきちんと言う		1		2.5%
		ごみが落ちていたら、できるだけ拾う		1		2.5%
		自分とは違う意見も取り入れる		1		2.5%
	尼崎市をよくするためにできることをする	尼崎市の課題とその改善策が分かったので、尼崎市をよくするために、できることから始める	3	3	7.5%	7.5%
	地域とのつながりをつくる	地域とつながることの大切さが分かったので、地域の行事に参加したり、地域の人に挨拶をして関係を築く	2	2	5.0%	5.0%
	親と話をする	これまで親とあまり話さなかったが、学校での出来事などを少しでも話す	2	2	5.0%	5.0%
	学校で学んだことを意識して行動する	学校で「相手を思いやる気持ちを持つ」ということを教えてもらっているので、学んだことを意識して行動する	2	2	5.0%	5.0%
	生徒会活動に活かす	学校の代表として生徒会ができそうなこともあったので、取り組めるように考える	2	2	5.0%	5.0%
	その他	ティーンズミーティングで出た意見や感じたことを、友達に伝える	2	1	5.0%	2.5%
		大人と話をし、できることから一緒に取り組む		1		2.5%
				40	40	100.0%

参加した感想(小学校)

大分類	小分類	件数		割合	
		大分類計	小分類計	大分類計	小分類計
自分の意見を言えてよかった	普段から思っていることを言えてよかった	16	8	25.0%	12.5%
	「男女や年上年下ということはない」などルールがあったので、意見を言いやすかった		2		3.1%
	ティーンズミーティングに参加するか迷っていたけれど、みんなに意見を聞いてもらえる雰囲気だったので、自分の意見を言えてよかった		2		3.1%
	発言しにくい雰囲気かと思っていたけれど、たくさん意見を言えてよかった		1		1.6%
	人前で意見を言うのは苦手だけれど、意見を言えてよかった		1		1.6%
	みんなが素直に意見を言っていたので、自分も素直に意見を言えた		1		1.6%
	最初に発表してくれた人のおかげで意見を言いやすくなったので、たくさん意見を言えた		1		1.6%
みんなの意見を聞いてよかった	みんなの意見を聞いてよかった	14	4	21.9%	6.3%
	自分では考えつかない意見を聞くことができてよかった		3		4.7%
	みんなが尼崎市のことを考えて意見を言っていて、すごいと思った		2		3.1%
	みんなの思いがよく分かった		2		3.1%
	みんなの意見は分かりやすかった		1		1.6%
	共感できる意見があった		1		1.6%
	みんなの意見が自分と違って、驚いた		1		1.6%
よい経験になった	地域のことを話し合う場はあまりなかったので、よい経験になった	10	6	15.6%	9.4%
	ティーンズミーティングに参加するかどうか迷ったけれど、参加してよかった		2		3.1%
	人の意見を参考にして、自分の意見をよくするにはどうすればよいか考えることができてよかった		1		1.6%
	今度参加する討論会の練習になってよかった		1		1.6%
楽しかった	時間を忘れるくらい楽しかった	7	4	10.9%	6.3%
	ファシリテーターの人達がしっかり意見を聞いてくれたり質問してくれたので、とても楽しかった		1		1.6%
	始まるまでは不安だったけれど、思っていたよりも楽しかった		1		1.6%
	最初は緊張していたけれど、徐々に気持ちがほぐれていって楽しめた		1		1.6%
普段考えないことを話し合えてよかった	まちの安全など、普段考えないテーマについてみんなの意見を聞きながら話し合えてよかったし、楽しかった	5	5	7.8%	7.8%
尼崎市がよいまちになって欲しい	尼崎市のよくないところが分かったので、今日の意見を活かしてよいまちになって欲しい	5	2	7.8%	3.1%
	尼崎市はまだまだ成長できるということが分かったので、少しでもよいまちになって欲しい		2		3.1%
	安心して暮らせるまちになって欲しい		1		1.6%
色んなことを知ることができた	みんなで話し合っ改めて分かったこともあったので、とても勉強になった	4	2	6.3%	3.1%
	ティーンズミーティングに参加して、尼崎市のことをより深く知ることができた		1		1.6%
	不審者が出た時など、危険な時の対処方法が分かってよかった		1		1.6%
また参加したい	ティーンズミーティングのような機会があれば、また参加したい	2	2	3.1%	3.1%
その他	ティーンズミーティングでは、自分が呼ばれたい名前を呼んでもらえたので嬉しかった	1	1	1.6%	1.6%
		64	64	100.0%	100.0%

参加した感想(中学校)

大分類	小分類	件数		割合	
		大分類計	小分類計	大分類計	小分類計
自分の意見を言えてよかった	自分の意見を言えてよかった	8	4	29.6%	14.8%
	ファシリテーターがいると意見を言いやすく、普段から思っていることを言えてよかった		3		11.1%
	尼崎市をよくするために意見を出し合えてよかった		1		3.7%
色々な意見を聞けてよかった	自分では考えつかない意見を聞けてよかった、楽しかった	7	6	25.9%	22.2%
	みんなの考えを知ることができてよかった		1		3.7%
自分達の意見が活かされるとよい	ティーンズミーティングで出た意見が、地域の人や市役所の取組に活かされたら嬉しい	3	3	11.1%	11.1%
楽しかった	時間が過ぎるのが早く感じるくらい、楽しかった	2	2	7.4%	7.4%
その他	普段考えないことを考えることができてよかった	7	1	25.9%	3.7%
	ティーンズミーティングに参加して、尼崎市をもっとよくしたいと思った		1		3.7%
	大人が、子どもや地域のために取組んでいると知れて嬉しかった		1		3.7%
	学ぶことができた		1		3.7%
	ティーンズミーティングのような機会があれば、また参加したい		1		3.7%
	当たり前のことをしようという意見が多かったので、みんなが常識的な行動ができたらよいと思った		1		3.7%
	共感できる意見はあまりなかった		1		3.7%
		27	27	100.0%	100.0%

